

# あいち農産物生産流通レポート

2024年3月号

	ページ
◎ 情報サロン	
・ いちご「愛きらり」のブランド化について (園芸農産課)	1
◎ 地域トピックス	
・ 「川売の梅花まつり」を通じての農産物販売活動 ～イベントによる都市住民等との交流～ (新城設楽農林水産事務所)	2
◎ 東日本情報	
・ 洋菜品質検討会を開催 (東京事務所)	3
◎ 西日本情報	
・ 「キャベツの魅力発見！漬物講習会」を実施しました (園芸農産課)	5
◎ フラワーページ	
・ フラワーバレンタインプロモーション2024について (園芸農産課)	6
・ 第72回関東東海花の展覧会が池袋で開催されました (東京事務所)	8
◎ 青果	
・ 愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	11
・ 名古屋・東京市場における青果物の3月の見通し	12
◎ 花き	
・ 切花・鉢花の3月の見通し(県内市場)	24

内容についての問合せ先

愛知県農業水産局農政部食育消費流通課

(052)-954-6434

愛知県東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

(03)-5492-5400



## いちご「愛きらり」のブランド化について

園芸農産課

「愛きらり」は、県農業総合試験場と愛知県経済農業協同組合連合会が約5年かけて共同で開発したいちごです。果実が大きく、果皮が濃い赤色で、糖度が安定して高いという特徴があります。

2022年12月に「果皮の光沢があり、高級感があるいちご」をイメージし、ブランド名を「愛きらり」と決定しました。

2023年にブランド化推進協議会を立ち上げ、いちごの栽培技術の確立や消費者へのPR活動を行っています。

### 1 洋菓子店オーナーへのPR

2024年1月24日(水)に、洋菓子協会会員の洋菓子店オーナーを対象に、「愛きらり」の試食を交え、特徴を説明しました。参加者からは、特に外観のツヤや甘さに良い評価をいただき、さらに、愛きらりを用いた洋菓子の試作や商品化をしたいとの声を多くいただきました。地元の洋菓子店への需要拡大に向けて、大変有意義な機会となりました。

さらに、試作を実施した会員からは、「果実の断面がきれいで、見た目が華やかになる」「果実のツヤを活かし、ショートケーキにのせたい」と意見があり、今後の需要拡大に向け、期待が持てる結果となりました。

### 2 SNSを活用した消費者へのPR

消費者の認知度向上を図るため、いいともあいち運動X(旧Twitter)のアカウントを活用し、「愛きらり」の認知度調査及びPRキャンペーンを実施し、果実の魅力を消費者へ広く情報発信しました。

認知度調査の参加者は5,000名を超え、調査の結果、約8割が「愛きらり」を初めて知ったと回答があり、さらに、「食べてみたい」と投稿が広がる等、大きな反響がありました。

Instagramではインフルエンサーを活用し、「愛きらり」を使用した加工商品を紹介する投稿とともに、特徴を発信しました。

### 3 今後の取組

2024年度は県内各地へ生産が広がり、出荷量が増加します。栽培指針を各地域へ普及させ、技術の安定化を進めていくとともに、今後も関係機関と連携し、皆さまに愛されるブランドいちごとなるよう引き続きPRしてまいります。



愛きらり



当日の様子



SNSのキャンペーン



ロゴ

## 「川売の梅花まつり」を通じての農産物販売活動

～イベントによる都市住民等との交流～

新城設楽農林水産事務所

古くから旧鳳来地域は、梅の産地として県内に広く知られています。その産地のひとつである新城市北部に位置し、周辺を山々に囲まれた川売集落では、昭和30年代より集落一帯で梅の苗木を植樹し、現在では11戸の農家が、「南高」をはじめ8種類、約1,500本を育てています。

### 1 交流イベント活動の取組

集落の傾斜地に広がる梅花の満開時期は、まさに現代の「桃源郷」といっても過言ではなく、山あいを縫ってびっしりと咲き、幻想的な風景を醸し出しています。

梅花は、毎年2月下旬から3月中旬が見頃となり、この時期に合わせて、都市住民との交流を兼ね、地元産の梅加工品等を販売する直売所が設けられる「川売の梅花まつり※」（以下、「梅花まつり」という。）が行われます。来訪者は地域住民との交流イベントを楽しみながら、集落を散策しています。

梅花まつりの期間中は、地元産の梅を使った「梅干し」、「梅ジャム」、「梅せんべい」、「梅風味のみそたれ」などが販売されます。

例年は、梅の収穫量も多く、加工品としての売り上げも好調でしたが、昨年6月初めの豪雨被害により収穫量が減少したため、梅花まつりで販売する加工品は数量限定となりました。

### ※「川売の梅花まつり」

開催期間：2024年2月17日（土曜日）～3月17日（日曜日）

（梅花の咲き具合で、初日及び最終日が前後する可能性があります。）



【梅花の満開時期】



【梅を使った各種加工品】

### 2 都市住民との交流イベント継続の想い

直売所を開いている農家からは、「イベントに訪れた皆さんとのふれあいを大切に、景観を維持しながら、地元産の梅を始めとした農産物の収穫、提供を続けたい。」との発言がありました。多くの来訪者から「この景観を見るのが楽しみ、イベント訪問による再会を期待。」と言われることを励みに、まつり継続に意欲を示しています。

満開の梅花と農家との交流を楽しみにしていると声を掛けてもらうことで、梅花まつりを継続させる原動力になっているようです。

## 洋菜品質検討会を開催

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

2024年1月30日（火）に京浜市場愛知県野菜連絡会の洋菜研究会は、洋菜品質検討会を開催しました。

### 1 品質検討会の概要

同研究会は、静岡県京浜地区野菜流通協議会洋菜部会と合同で、例年、両県の洋菜類の出荷シーズンである1月～2月に、品質向上を目的として洋菜品質検討会を開催しています。

コロナ禍の2021年～2023年の3か年は、参加する卸売会社は大田市場内に所在する2社のみとし、生産者は不参加で開催されました。しかし、コロナによる行動制限がなくなった今回は、研究会会員の卸売会社8社に加え、出荷産地のJA担当者と生産者も参加し、4年ぶりに関係者が一堂に集まった検討会となりました。

そうした中で、セルリー、ブロッコリー、カリフラワー、サニーレタス、グリーンリーフ、レタスの各品目について、卸売会社の担当者による品目ごとの所定項目についての5段階評価のほか、病虫害被害株の混入個数等が確認され、品質が検討されました。



品質検討の様子

### 2 品質検討結果

#### (1) セルリー

愛知県内2産地含め4県5産地について検討されました。

愛知県の2産地は、一方はボリューム感で最も高い評価が得られ、もう一方は最も低い評価となり「老化が見られる」「白化が見られる」という厳しい意見が出されました。

しかし、「1ケース重量(kg)」と「第1節間の長さ(cm)」については、5産地いずれも規格の範囲内に収まっており、病虫害は確認されず、基本的には品質良好との総評でした。

#### (2) ブロッコリー

愛知県内2産地含め5県6産地について検討されました。

愛知県内の2産地はそれぞれ2つの等階級が検討され、「アントシアン<sup>\*</sup>が散見される」「色が薄い」という意見もありましたが、「全体的に非常に品質が良い」との評価を受けました。アントシアンについては「消費者の理解が得られるようになったが、アン



株によりアントシアンが散見

トシアンの出た株と出ていない株が混在していると、売り場に並べたときの見映えが良くない。」との話がありました。

※アントシアン:色素の一種。ブロッコリーは低温により花蕾が紫色に変色することがある。

### (3) カリフラワー

愛知県内2産地含め4県6産地について検討されました。

「いずれの産地も、品質は素晴らしい。産地間で色の違いは見られるが、箱内での色の違い(白色とクリーム色の混合)はなかった。また、外葉の残し方については、輸送時に蕾が開かないようしっかり包み込んだ状態となっており良い。」と総評される中、愛知県産は「非常に白く重量感も申し分ない」と高い評価を受けました。



白く重量感のある愛知県産

### (4) サニーレタス

愛知県内2産地含め5県7産地について検討されました。

愛知県の2産地に対しては、一方の産地は「(L階級の規格なのに)M階級のものが混入していた」、もう一方の産地は「若干折れが目立つ」「着色は良い」と、それぞれ指摘されました。

また、他県産では「ボリューム感があるが多少折れがある」「着色が薄い」「外葉だけで中身の無いものがあった」という指摘がありました。

### (5) グリーンリーフ

愛知県内2産地含め5県6産地について検討されました。

全体的に大きな問題はないとの総評でしたが、個別の指摘としては、ボリューム不足、株の不揃い、「しなびが気になる」、「下処理があまい」というものがありました。

こうした中で、愛知県の1産地は株揃いとボリューム感の評価が最も高く、「ボリュームと株揃いが良い」という評価が得られました。



ボリュームと株揃いが  
良い愛知県産

### (6) レタス

愛知県内の産地はなく、4県6産地について検討されました。

「選果選別がしっかりしている」との総評でしたが、2県3産地が葉先の枯れとトロケを指摘されました。一方で、昨年多く指摘された表層剥離については1産地の指摘にとどまりました。

品質検討結果の協議後、産地情勢や市場情勢の報告があり、各品目とも概ね目立った病害虫はなく、品質も問題なく、入荷が順調に進むとの予測が確認されました。

卸売会社からは、「コロナ禍を機に、品質が良い、棚保ちが良いといったニーズが変わってきたため、ロスのないものが一番求められるようになった。」との意見が多く、品質の高いものを揃えて出荷していくことがより重要になっています。

## 「キャベツの魅力発見！漬物講習会」を実施しました

園芸農産課

愛知県は野菜産出額、漬物出荷額ともに全国上位となっていますが、県民1人当たりの野菜摂取量は全国の中でも非常に低いレベルにあります。そこで、県では県民に愛知の野菜や漬物に興味をもってもらうため、産出額が全国第1位(2022年産)のキャベツに着目し、「キャベツの魅力発見！漬物講習会」を2024年1月24日に豊橋市内にて実施しました。

### 1 「キャベツの魅力発見！漬物講習会」事業の概要

当事業は農林水産省の「消費・安全対策交付金」の事業メニュー「食文化の保護・継承のための取組支援」として実施しました。今回は、愛知県において生産が盛んなキャベツをテーマに、漬物を通して伝統的な食文化への理解を深め、その食文化を地域や家庭で受け継いでいただくことを目的としました。



商品開発の事例を紹介

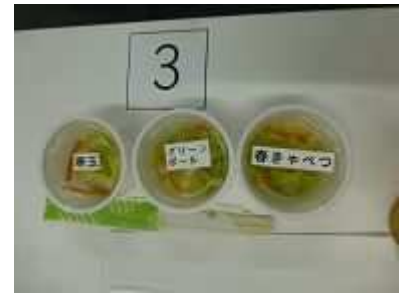
### 2 講話・体験会の内容

事業実施に御協力いただいた東海漬物(株)漬物機能研究所の長野雄平氏、岩田峰司氏を講師として「キャベツに関する講義」、「キャベツを用いた商品開発の事例」の講義を実施しました。

また、会場となった漬物機能研究所の施設見学、キャベツの品種の違いによる浅漬けの食味評価など盛りだくさんの内容の講習会となりました。

#### (1) キャベツに関する講義・商品開発事例

愛知県産キャベツを始めとする各産地のキャベツや業務用キャベツの特徴等のほか、キャベツの選び方や保存方法なども教えていただきました。また、商品開発事例の紹介では、ロングセラー商品の開発に関する話などがあり、参加者は興味深く聞いていました。



食味評価の様子

#### (2) 施設見学

普段は見ることのできない施設内を見学させていただきました。商品の試作や衛生管理の試験などの作業の様子を見ることができました。

#### (3) 食味評価

寒玉、春キャベツ、グリーンボールの3種類のキャベツによる食感、味の違いなどを実際に食べくらべてみました。

参加者からは、「キャベツの漬物はおいしかった」、「漬物の塩分が気になっていたが実際はそれほど多くないことが分かった」等の声があり、キャベツと漬物の魅力を知っていただく機会となりました。

さらに、当事業では愛知の野菜と漬物を紹介したリーフレットを作成、配布し、今後も広く県民に向けてPRに努めていきます。

## フラワーバレンタインプロモーション2024について

園芸農産課

日本では、バレンタインデーはチョコレートを贈る日として定着していますが、イギリスやアメリカを始めとするいくつかの国では、大切な人に愛や感謝を伝えるために花を贈る風習があります。

日本においても、バレンタインデーに大切な人へ花を贈る文化が定着することを目指し、一般社団法人花の国日本協議会(旧フラワーバレンタイン推進委員会)が、「フラワーバレンタイン」を推進しています。

花の産出額が61年連続日本一の愛知県では、「フラワーバレンタイン」を新たな県産花きの需要拡大の機会と捉えて、その普及とあいちの花のPRを目的に、2011年度から花き関係団体等と「フラワーバレンタインあいち実行委員会」を組織し、様々な取組を行っています。本年度も県内及び首都圏でフラワーバレンタインプロモーションを実施しました。

### 1 愛知県内でのプロモーション

#### (1) イオンモール大高でのプロモーション

2024年2月3日(土)、4日(日)に、イオンモール大高(名古屋市緑区)でフォトスポット設置やワークショップ等を実施しました。

愛知県産のバラを100本使用した花束を持って、写真撮影ができるフォトスポットでは、カップルや家族連れなど様々な方々が、初めて持つ大きな花束の重さに驚きながらも楽しそうに撮影を行っていました。

あいちの花をメイン花材としたフラワーバレンタイン用アレンジメント等の展示では、足を止めてじっくりとご覧になる方や、気に入ったアレンジメントと一緒にフォトスポットで撮影するご家族もいました。

3日(土)には、大村知事が来場し、あいちの花とフラワーバレンタインのPRを行い、フォトスポットでの撮影では大いに盛り上がりました。



フォトスポット



アレンジメント等の展示



大村知事によるPR

フラワーアレンジメントや花苗の寄せかごを制作できるワークショップでは、二人で参加された方には参加費がお得になるペア割を導入しました。

約7割の方がペアで参加し、にぎやかなワークショップとなりました。



制作の様子



参加者の作品



## (2) 生花店におけるPR

2024年1月14日(日)から2月14日(水)まで、県内の生花店約400店舗で、フラワーバレンタインを消費者に周知するPOPの掲示を行いました。



POP

## 2 首都圏でのプロモーション

### (1) 東急ストア中央林間店でのプロモーション

2024年2月10日(土)に、東急ストア中央林間店(神奈川県大和市)においてデモンストレーションやワークショップ等を実施しました。

大村知事が来場し、フラワーバレンタインをPRし、ブーケ制作のデモンストレーションでは、大村知事が選んだあいちの花を使って、草月流花道家の州村有加<sup>すむらゆか</sup>さんがブーケを制作しました。制作したブーケは、大村知事から来場された方に贈られました。

また、大村知事や愛知県経済農業協同組合連合会会長などから、来場された方にあいちの花を使用した花束をプレゼントしました。たくさんのお客様にご来場いただき、100名の方にお渡ししました。

フラワーバレンタイン装飾のフォトスポットは、愛知県産のスイートピー、バラ、グロリオサ、アルストロメリア等を使用し、州村さんが制作しました。ステージで写真を撮ると、お花畑の中で写真を撮影したように見えるフォトスポットでは、親子連れやご夫婦など、多くのお客様が花束を持ち、写真撮影を楽しんでいました。

ワークショップでは、あいちの花で作ったドライフラワーを貼ったメッセージカードを制作しました。参加者は好きなドライフラワーを選び、プレゼント等に添えるカードを作っていました。



ブーケ制作の  
デモンストレーション



あいちの花プレゼント



ワークショップ

### (2) セルリアンタワー東急ホテルでのプロモーション

2024年2月9日(金)から2月14日(水)まで、セルリアンタワー東急ホテル(東京都渋谷区)であいちの花を使ったフラワーバレンタインの会場装飾を行いました。

ロビー、フロント、宴会場前で、フラワーバレンタインカラーの赤色やピンク色のウェルカムフラワーがお客様をお出迎えしました。



ロビーの装飾

## 第72回関東東海花の展覧会が池袋で開催されました

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

花に対する理解を深め、花の一層の消費拡大を図ることを目的とした日本最大規模の花の展覧会となる第72回関東東海花の展覧会（主催：愛知含む1都11県、一般社団法人日本花き生産協会など花き関係6団体）が、サンシャインシティ文化会館で開催されました。2024年1月25（木）に出品物の品評会が行われ、1月26日（金）～28日（日）に一般公開されましたので、その概要を紹介します。



開会式の様子



入り口のディスプレイ

### 1 産地紹介コーナーにおける愛知県の展示

産地紹介コーナーでは、関東東海地域の各都県における特産の花や、オリジナル品種及び花のイベントなどが紹介されました。愛知県の展示では、あいちで生まれた日持ち性の良いスプレーカーネーション「カーネフジ愛農1号（販売名：ドリーミーチェリー）」、「カーネアイノウ1号（販売名：ドリーミーブロッサム）」及び、香りのある白系バラの「愛知2号（販売名：アモールサベル）」を展示しました。あいちのママでは、スプレーママ、フルブルームママに染料を混ぜた水に生けて花卉を染めたカラーリングママを展示しました。



産地紹介コーナーの様子



愛知県の展示の様子

## 2 花の品評会の概要

愛知を含む1都11県から切り花や鉢物など合計1,531点が出品され、愛知県は190点を出品し、76点が受賞しました。会場では、カーネーションやきくなど各部門に分かれて展示され、特別賞の展示もされました。

表 愛知県の受賞一覧

部門	金・銀・銅・特別賞の受賞点数
カーネーション	金：2点、銀：6点、銅：7点（内、特別賞4点）
きく	金：7点、銀：9点、銅：16点（内、特別賞11点）
ばら	金：1点、銀：1点、銅：3点（内、特別賞1点）
球根切花	金：1点、銀：1点、銅：1点（内、特別賞2点）
観葉植物	金：4点、銀：4点、銅：8点（内、特別賞6点）
一般鉢物	金：1点、銀：1点、銅：1点（内、特別賞1点）
洋らん	銀：1点、銅：1点（内、特別賞1点）



カーネーションの展示



きくの展示



特別賞の展示

## 3 イベントコーナーの概要

バレンタインをイメージした作品を作るフラワーアレンジメント教室や、品評会に出品された花の即売会が開催されました。ステージイベントコーナーでは、2人1組で行う5分間の即興花いけ対決の観戦や、来場者による即興花いけの体験ができる「花いけバトル&みんなで花いけ」が開催されました。花いけには、各産地の花材が使用され、愛知県のカラーリングマムやスプレーマムが使用されました。イベント中は、各産地の花の紹介もあり、参加者が見て聞いて体験できるイベントとして盛り上がりを見せていました。



花いけバトルショーの様子



## 愛知産青果物の動向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

前年並 : ±1%台以下  
 わずか : ±2%台以内  
 やや : ±3～5%台  
 かなり : ±6～15%台  
 大幅 : ±16%以上

### ○ 名古屋市中央卸売市場（品目：ふき）

	入荷量 (t)	卸売価格 (円/kg)		前年主要産地 (上位3産地)
		うち愛知産	愛知産	
2023年実績	326	320 (98%)	301	愛知(98%) 徳島(2%)
2024年見通し	300	—	310	—
概要と見通し		卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>【概要】                      県内の主な産地は知多半島。生産者の高齢化により、栽培面積は年々減少している。病気により生育がよくない。短め中心の入荷となる見通し。</p> <p>【見通し】                      入荷量：前年をかなり下回る。(▲8.0%)                      価格：前年をわずかに上回る。(＋3.0%)</p>		<p>近年は、一般家庭で食べられる機会が減少しているものの、以前からふきを食べている消費者から一定の需要があるため、産地には栽培面積と入荷量の維持をお願いしたい。</p> <p>また、若い世代も含めて食べ方を知らない人が多いので、消費促進を図るため、食べ方を含めた販売をお願いしたい。</p>		

### ○ 東京都中央卸売市場（品目：ふき）

	入荷量 (t)	卸売価格 (円/kg)		前年主要産地 (上位3産地)
		うち愛知産	愛知産	
2023年実績	376	266 (71%)	445	愛知(71%) 群馬(25%)
2024年見通し	320	—	465	千葉(1%)
概要と見通し		卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>【概要】                      全国的に作付面積と生産量の減少が続いている中、愛知県産は2月に長雨の影響で赤さび病の発生が散見された。しかし、3月は春ふきの出荷が始まるため出荷量への影響はないと思われ、中旬にかけて出荷量を増やす見込み。</p> <p>【見通し】                      入荷量：前年をかなり下回る。(▲14.9%)                      価格：前年をやや上回る。(＋4.5%)</p>		<p>作付面積と生産量の減少が今後も続く予想されるが、入荷量の維持・確保をお願いしたい。</p> <p>また、抑制ふきから促成ふきまでのシーズンを通じた安定入荷をお願いしたい。あわせて、有利販売のための出荷情報の共有化をお願いしたい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の3月の見通し

名古屋市中央卸売市場

2月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜	2019年	33,666	206	213	208	195	愛知 25%
	2020年	34,355	216	212	218	218	北海道 20%
	2021年	34,866	218	222	216	215	茨城 10%
	2022年	33,320	246	259	249	231	鹿児島 8%
	2023年	34,163	233	234	241	224	熊本 5%
	5ヵ年平均	34,074	224	—	—	—	
	2024年見通し	32,600	254	—	—	—	前年及び本年の入荷量・価格の動き
野菜計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 愛知と北海道を中心に鹿児島、茨城などから入荷する。年明け以降も気温高で推移したため、いずれの品目も前進出荷となる見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をやや下回る。(▲4.6%) 価格：前年をかなり上回る。(＋9.0%)</p>						
だいこん	2019年	1,500	77	72	79	86	千葉 37%
	2020年	1,512	85	77	78	105	静岡 23%
	2021年	1,764	84	80	88	89	鹿児島 21%
	2022年	1,705	113	118	116	110	神奈川 9%
	2023年	1,587	92	97	91	93	愛知 7%
	5ヵ年平均	1,614	91	89	91	97	
	2024年見通し	1,550	90	90	90	90	前年及び本年の入荷量・価格の動き
だいこん計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 千葉、鹿児島、静岡を中心に入荷する。全体的な作付面積は減っているが大玉傾向。神奈川、静岡産が前進出荷のため、例年より早く出荷終了見込み。愛知産春大根の出荷が月末から始まる見通し。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をわずかに下回る。(▲2.3%) 価格：前年をわずかに下回る。(▲2.2%)</p>						
にんじん	2019年	1,756	118	112	131	109	徳島 54%
	2020年	1,846	167	125	174	194	愛知 40%
	2021年	1,965	210	207	218	204	長崎 4%
	2022年	2,253	110	101	113	119	鹿児島 2%
	2023年	1,959	154	132	160	170	
	5ヵ年平均	1,956	151	135	158	159	
	2024年見通し	1,900	150	130	160	160	前年及び本年の入荷量・価格の動き
にんじん計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 徳島、愛知主体の入荷となる。上旬の主産地は愛知、中下旬からは徳島。今年は暖冬の影響もあり、リレーが少し早くなる見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をやや下回る。(▲3.0%) 価格：前年をわずかに下回る。(▲2.6%)</p>						

注) 「ねぎ」は「こねぎ」を含む。  
「なす」は「長なす」と「べいなす」を含む。

東京都中央卸売市場

2月28日 現在

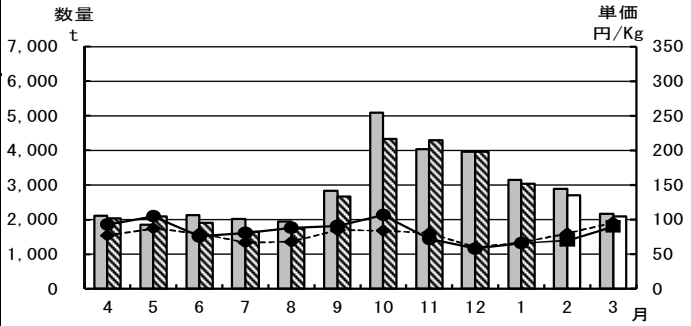
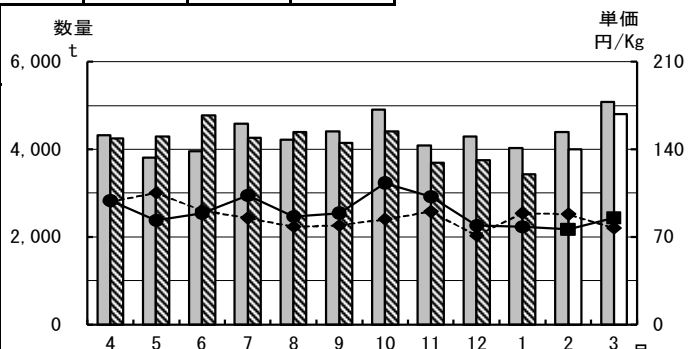
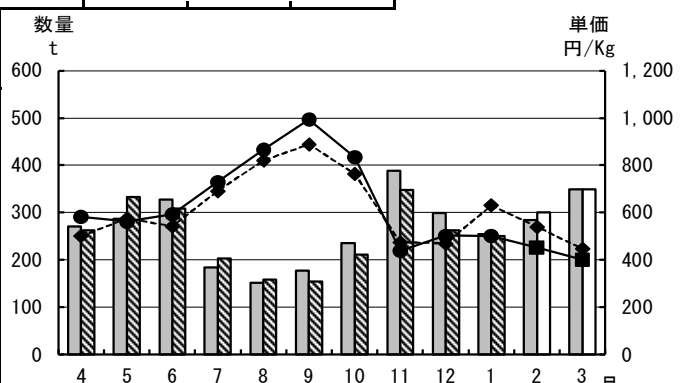
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)		
			上旬	中旬	下旬			
野菜	2019年	123,182	230	227	228	235	茨城 16%	
	2020年	124,375	244	228	235	263	千葉 15%	
	2021年	121,378	238	240	236	240	愛知 11%	
	2022年	117,046	268	279	267	259	北海道 10%	
	2023年	111,367	266	270	264	263	神奈川 7%	
	5カ年平均	119,470	249	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2024年見通し	119,000	255	—	—	—		
野菜計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t)				単価(円/kg)	
	<p>【産地状況】 3月は気温の上昇とともに果菜類の入荷量が増える時期。前進出荷している品目は端境が生じる可能性がある。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をかなり上回る。(＋6.9%) 価格：前年をやや下回る。(▲4.1%)</p>							
だいこん	2019年	9,739	76	76	70	84	千葉 49%	
	2020年	10,224	77	71	65	95	神奈川 46%	
	2021年	10,009	77	74	77	79	福岡 2%	
	2022年	9,160	109	113	113	101	茨城 1%	
	2023年	8,895	90	93	86	91	鹿児島 1%	
	5カ年平均	9,605	85	85	82	90	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2024年見通し	9,000	95	95	90	100		
だいこん計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t)				単価(円/kg)	
	<p>【産地状況】 入荷先の主体は千葉、神奈川。生育順調で出荷は前進傾向。神奈川産の切り上がり早ければ、下旬に単価が上がる見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年並。(＋1.2%) 価格：前年をやや上回る。(＋5.6%)</p>							
にんじん	2019年	7,566	107	103	113	103	徳島 50%	
	2020年	6,436	175	153	175	188	千葉 33%	
	2021年	6,636	210	210	219	202	茨城 5%	
	2022年	6,861	108	111	106	107	埼玉 4%	
	2023年	6,188	156	140	160	167	鹿児島 2%	
	5カ年平均	6,737	149	142	153	151	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2024年見通し	6,200	155	150	170	145		
にんじん計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t)				単価(円/kg)	
	<p>【産地状況】 入荷先の主体は徳島、千葉。徳島産は生育順調で潤沢な入荷を見込む。千葉産は出荷が前進傾向のため例年より少ない見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年並。(＋0.2%) 価格：前年並。(▲0.6%)</p>							

名古屋市中央卸売市場

2月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうろくさい	2019年	2,045	64	51	67	73	茨城 54%
	2020年	2,308	116	101	104	135	長崎 15%
	2021年	2,258	63	56	65	70	兵庫 10%
	2022年	2,001	90	77	94	103	熊本 7%
	2023年	2,173	96	86	97	109	三重 6%
	5ヵ年平均	2,157	86	75	86	98	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2024年見通し	2,100	90	80	90	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
【産地状況】 茨城、長崎、兵庫などから入荷する。秋冬産地(兵庫、茨城、愛知)の切上がりは早い予想。気温上昇とともに売場は減少見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年をやや下回る。(▲3.4%) 価格：前年をかなり下回る。(▲6.3%)							
キャベツ	2019年	4,535	54	57	48	59	愛知 93%
	2020年	3,944	82	76	68	94	三重 3%
	2021年	4,882	61	64	61	60	滋賀 2%
	2022年	4,504	101	107	113	89	静岡 1%
	2023年	5,077	77	79	78	75	鹿児島 1%
	5ヵ年平均	4,588	75	76	74	75	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2024年見通し	4,800	85	75	85	95	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
【産地状況】 愛知主体の入荷となる。2月期の降雨、気温等の条件が良く生育順調で、前進傾向。愛知は下旬から数量が減少し、新キャベツが徐々に始まる見通し。 【概況見通し】 入荷量：前年をやや下回る。(▲5.5%) 価格：前年をかなり上回る。(▲10.4%)							
ほうろく	2019年	330	377	335	358	465	茨城 39%
	2020年	283	487	423	462	587	愛知 36%
	2021年	383	357	361	329	384	岐阜 13%
	2022年	376	407	476	369	388	静岡 7%
	2023年	350	446	482	425	435	長野 2%
	5ヵ年平均	344	411	416	385	444	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2024年見通し	350	400	400	400	400	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
【産地状況】 茨城、愛知を中心に入荷する。暖冬の影響で前進出荷となっており、冬作が早く終了する見通し。上旬～中旬にかけて出荷量は多いが、下旬にかけて出荷の谷間となる可能性がある。 【概況見通し】 入荷量：前年並。(±0%) 価格：前年をかなり下回る。(▲10.3%)							



東京都中央卸売市場

2月28日 現在

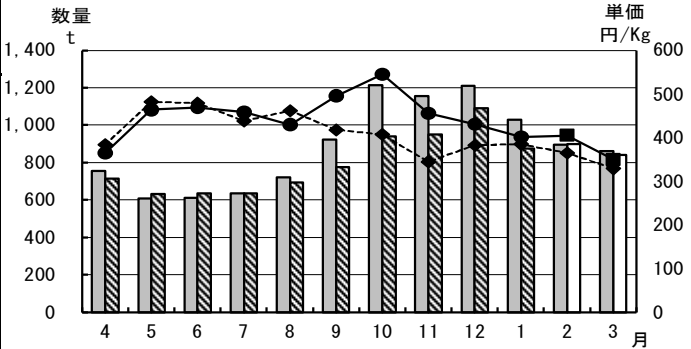
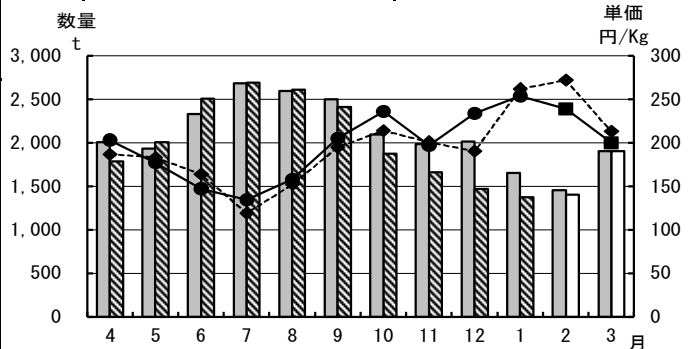
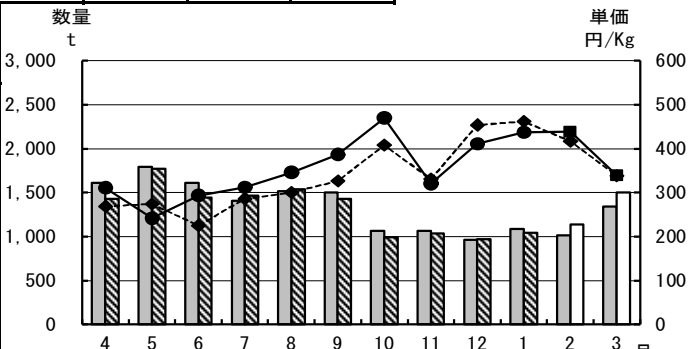
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうろくさいい	2019年	7,420	46	38	42	60	茨城 77%
	2020年	8,079	103	80	90	144	兵庫 13%
	2021年	8,733	43	33	41	58	群馬 6%
	2022年	7,742	80	61	78	111	長崎 3%
	2023年	6,677	87	66	84	116	埼玉 1%
	5カ年平均	7,730	71	55	66	97	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2024年見通し	6,700	85	90	85	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量(t) 単価(円/Kg)				
【産地状況】 入荷先の主体は茨城となる。茨城産は上旬は秋冬作と春作の端境が生じるが、下旬は春作がピークとなり数量回復を見込む。 【概況見通し】 入荷量：前年並。(+0.3%) 価格：前年をわずかに下回る。(▲2.3%)							
キヤベツ	2019年	19,841	62	64	57	66	愛知 54%
	2020年	18,316	93	77	75	119	神奈川 23%
	2021年	19,099	62	62	64	61	千葉 19%
	2022年	18,052	112	114	116	106	群馬 1%
	2023年	17,385	85	86	86	84	
	5カ年平均	18,539	82	80	79	87	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2024年見通し	17,500	85	80	80	95	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量(t) 単価(円/Kg)				
【産地状況】 入荷先の主体は愛知、神奈川、千葉。出荷は前進傾向で、愛知産の切り上がりが早まり、中旬以降は神奈川産が主軸となる。 【概況見通し】 入荷量：前年並。(+0.7%) 価格：前年並。(±0%)							
ほうろれんそう	2019年	1,495	357	307	362	418	茨城 48%
	2020年	1,359	499	427	434	628	群馬 31%
	2021年	1,609	334	349	305	350	埼玉 7%
	2022年	1,702	402	432	350	424	千葉 5%
	2023年	1,619	418	438	381	436	栃木 5%
	5カ年平均	1,557	400	391	364	446	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2024年見通し	1,600	420	410	390	460	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量(t) 単価(円/Kg)				
【産地状況】 入荷先の主体は茨城、群馬。各産地とも生育順調。作付面積は前年並のため、天候不順がなければ出荷量も前年並となる。 【概況見通し】 入荷量：前年並。(▲1.2%) 価格：前年並。(+0.5%)							

名古屋市中央卸売市場

2月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	2019年	892	293	298	288	302	大分 29%
	2020年	886	304	303	292	316	静岡 14%
	2021年	744	433	473	417	409	群馬 9%
	2022年	826	384	416	374	365	鳥取 8%
	2023年	860	329	347	319	314	愛知 8%
	5カ年平均	842	345	363	335	339	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2024年見通し	840	350	350	350	350		
ねぎ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 大分、静岡、群馬、鳥取などの各産地から入荷する。各産地、生育順調。愛知産の越津ねぎは3月末で終了見込み。白ねぎは春作に切り替わり、2Lの比率が高くなる見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をわずかに下回る。(▲2.3%) 価格：前年をかなり上回る。(▲6.4%)</p>						
しそ	2019年	1,661	178	166	168	205	茨城 44%
	2020年	1,722	201	172	178	243	兵庫 27%
	2021年	1,754	147	147	146	149	熊本 7%
	2022年	1,696	224	271	218	192	静岡 6%
	2023年	1,903	213	247	211	189	長崎 6%
	5カ年平均	1,747	193	201	185	195	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2024年見通し	1,900	200	220	200	180		
しそ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 茨城、兵庫を中心に入荷する。例年より気温高での推移のため、大玉傾向。中旬以降に出荷ピークを迎える見込み。気温上昇に伴いサラダ商材としての需要に期待。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年並。(▲0.2%) 価格：前年をかなり下回る。(▲6.1%)</p>						
きゅうり	2019年	1,428	312	325	333	281	愛知 57%
	2020年	1,610	324	348	343	298	宮崎 12%
	2021年	1,539	307	318	319	290	群馬 11%
	2022年	1,497	281	318	275	255	高知 10%
	2023年	1,341	338	372	328	318	鹿児島 9%
	5カ年平均	1,483	312	336	320	288	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2024年見通し	1,500	340	350	340	330		
きゅうり	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 愛知を中心に宮崎、群馬、高知の西南暖地から入荷する。気温上昇により前倒しの出荷見込み。2月下旬から群馬産の入荷が始まり、3月下旬には各地でピークとなる予想。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をかなり上回る。(▲11.9%) 価格：前年並。(▲0.6%)</p>						

東京都中央卸売市場

2月28日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)		
			上旬	中旬	下旬			
ねぎ	2019年	4,564	279	321	271	251	千葉 35%	
	2020年	4,894	268	264	250	286	茨城 19%	
	2021年	3,983	486	537	473	447	埼玉 19%	
	2022年	4,332	360	389	352	343	栃木 11%	
	2023年	4,548	281	296	264	282	群馬 5%	
	5ヵ年平均	4,464	330	355	317	318	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
2024年見通し	4,500	250	240	280	230			
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し								
ぎ	【産地状況】 入荷先の主体は千葉、茨城等となる。秋冬作、春作とも生育順調で前進傾向。下旬に春作の数量が増えてくる。 【概況見通し】 入荷量：前年並。(▲1.1%) 価格：前年をかなり下回る。(▲11.0%)							
しそ	2019年	7,274	167	163	157	183	茨城 52%	
	2020年	6,799	186	160	163	229	静岡 11%	
	2021年	7,174	133	135	126	138	香川 7%	
	2022年	7,017	212	258	202	177	長崎 7%	
	2023年	7,027	202	235	198	176	兵庫 6%	
	5ヵ年平均	7,058	180	190	169	180	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
2024年見通し	6,800	205	200	200	215			
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し								
ス	【産地状況】 入荷先の主体は茨城、静岡となる。各産地とも生育順調。茨城産は生育が前進傾向で漸次増加する一方、静岡産は漸次減少。 【概況見通し】 入荷量：前年をやや下回る。(▲3.2%) 価格：前年並。(＋1.5%)							
きゅうり	2019年	5,841	330	352	386	365	324	群馬 26%
	2020年	6,266	352	386	365	324	宮崎 25%	
	2021年	6,137	311	325	313	297	千葉 14%	
	2022年	6,184	285	323	271	264	埼玉 13%	
	2023年	5,689	348	394	334	321	茨城 11%	
	5ヵ年平均	6,023	325	356	328	298	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
2024年見通し	5,700	350	390	340	320			
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し								
り	【産地状況】 入荷先の主体は群馬、宮崎等となる。各産地とも生育順調。春作が増え、十分な入荷量となる見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年並。(＋0.2%) 価格：前年並。(＋0.6%)							

名古屋市中央卸売市場

2月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
な	2019年	644	362	396	363	342	熊本 61%
	2020年	653	397	417	411	378	愛知 37%
	2021年	591	365	378	369	355	高知 2%
	2022年	604	364	408	361	337	
	2023年	715	354	388	348	335	
	5カ年平均	641	368	397	370	349	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2024年見通し	600	380	400	380	360	
す	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 熊本、愛知を中心に入荷する。2月中旬の曇天の影響を受け、3月上旬までは大きく増加する見込みは薄い。例年通り下旬頃からの増加を見込む。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年を大幅に下回る。(▲16.1%) 価格：前年をかなり上回る。(▲7.3%)</p>						
ト	2019年	1,245	356	347	360	364	熊本 43%
	2020年	1,082	394	368	406	407	愛知 29%
	2021年	1,223	305	304	311	306	三重 14%
	2022年	1,138	317	326	314	317	岐阜 13%
	2023年	1,052	385	361	368	428	
	5カ年平均	1,148	350	340	351	362	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2024年見通し	1,150	350	360	350	340	
マ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 熊本、愛知、三重、岐阜を中心に入荷する。各産地、作柄良好。3月上旬には花飛びにより減少傾向。暖冬により小玉中心の予想。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をかなり上回る。(▲9.3%) 価格：前年をかなり下回る。(▲9.1%)</p>						
ミ	2019年	472	723	727	731	715	熊本 68%
	2020年	420	778	791	809	753	愛知 25%
	2021年	565	628	654	634	604	和歌山 4%
	2022年	587	649	670	658	630	宮崎 2%
	2023年	531	754	768	747	751	
	5カ年平均	515	701	717	709	685	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2024年見通し	600	600	620	600	580	
ト	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 熊本、愛知を中心に入荷する。なり疲れの影響もあり、3月上中旬までは入荷量が少ない見込み。小玉中心で、箱数減少傾向。愛知産は、気温上昇に伴い色づきが進めば、出荷量は回復してくる見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をかなり上回る。(▲13.0%) 価格：前年を大幅に下回る。(▲20.4%)</p>						

東京都中央卸売市場

2月28日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品 目 名	区分 実績 と見通し	入 荷 量	卸 売 価 格			前年主要産地(%)	
			上 旬	中 旬	下 旬		
な す	2019年	3,050	412	420	414	403	高知 60%
	2020年	3,056	447	465	454	432	福岡 20%
	2021年	3,164	404	416	403	395	熊本 11%
	2022年	3,251	402	451	406	363	佐賀 3%
	2023年	3,160	373	395	364	362	栃木 2%
	5カ年平均	3,136	407	429	408	391	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2024年見通し	3,100	410	440	400	390	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<b>【産地状況】</b> 入荷先の主体は高知、福岡となる。着果量は増えており、気温の上昇とともに入荷量が増える見込み。 <b>【概況見通し】</b> 入荷量：前年並。(▲1.9%) 価 格：前年をかなり上回る。(＋9.9%)							
ト マ	2019年	5,965	409	407	411	409	熊本 29%
	2020年	5,472	458	440	462	468	栃木 25%
	2021年	6,294	353	354	354	352	愛知 14%
	2022年	5,921	374	381	373	369	茨城 7%
	2023年	5,246	430	406	416	468	静岡 4%
	5カ年平均	5,780	403	396	401	410	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2024年見通し	5,800	390	420	380	370	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<b>【産地状況】</b> 入荷先の主体は熊本、栃木、愛知となる。各産地とも生育に問題はなく、気温の上昇とともに入荷量が増える見込み。 <b>【概況見通し】</b> 入荷量：前年をかなり上回る。(＋10.6%) 価 格：前年をかなり下回る。(▲9.3%)							
ニ ハ	2019年	1,757	714	696	727	716	熊本 44%
	2020年	1,741	755	787	794	713	愛知 19%
	2021年	1,963	606	634	625	569	宮崎 10%
	2022年	2,027	613	634	618	592	千葉 10%
	2023年	1,785	729	757	711	724	静岡 7%
	5カ年平均	1,855	680	698	691	659	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2024年見通し	1,800	700	700	700	700	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<b>【産地状況】</b> 入荷先の主体は熊本、愛知等となる。各産地とも生育順調で、気温の上昇とともに入荷量が増える見込み。 <b>【概況見通し】</b> 入荷量：前年並。(＋0.8%) 価 格：前年をやや下回る。(▲4.0%)							

名古屋市中央卸売市場

2月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	2019年	415	611	606	630	549	鹿児島 53%
	2020年	486	647	657	659	633	宮崎 30%
	2021年	552	574	621	577	547	高知 14%
	2022年	505	580	683	629	484	茨城 2%
	2023年	464	683	792	750	593	沖縄 1%
	5カ年平均	484	617	671	647	560	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2024年見通し	510	590	620	600	550	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<b>【産地状況】</b> 鹿児島、宮崎、高知からほぼ全量を入荷する。各産地とも生育順調で、3月中旬以降から増加し、下旬にピークを迎える見込み。気温上昇とともに安定した出荷になる見通し。 <b>【概況見通し】</b> 入荷量：前年をかなり上回る。(▲9.9%) 価格：前年をかなり下回る。(▲13.6%)							
ばれいしょ	2019年	3,102	126	132	130	111	鹿児島 64%
	2020年	3,425	146	125	129	181	北海道 36%
	2021年	2,435	306	279	326	317	
	2022年	2,715	237	289	244	190	
	2023年	2,899	184	178	173	198	
	5カ年平均	2,915	193	193	192	194	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2024年見通し	2,600	180	180	180	180	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<b>【産地状況】</b> 鹿児島、北海道からほぼ全量を入荷する。鹿児島産は大玉傾向で、離島の新ばれいしょが3月よりピークになる見込み。北海道産は発芽懸念があり、数量が減る可能性あり。 <b>【概況見通し】</b> 入荷量：前年をかなり下回る。(▲10.3%) 価格：前年をわずかに下回る。(▲2.2%)							
たまねぎ	2019年	6,606	116	136	121	100	北海道 83%
	2020年	7,182	77	81	80	74	静岡 10%
	2021年	7,014	86	91	89	80	愛知 6%
	2022年	5,766	188	191	184	189	中国 1%
	2023年	6,527	114				
	5カ年平均	6,619	113	97	92	86	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2024年見通し	5,800	190	190	190	190	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<b>【産地状況】</b> 北海道を中心に静岡、愛知などから入荷する。静岡産は前進出荷により上旬にピークアウトする見込み。愛知産は3月中旬から下旬にかけて出荷量が増加する見通し。 <b>【概況見通し】</b> 入荷量：前年をかなり下回る。(▲11.1%) 価格：前年を大幅に上回る。(▲66.7%)							

東京都中央卸売市場

2月28日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	2019年	1,746	636	631	681	596	茨城 39%
	2020年	2,042	669	689	671	654	宮崎 33%
	2021年	2,126	592	637	595	552	高知 14%
	2022年	2,087	609	684	645	530	鹿児島 12%
	2023年	2,069	698	791	733	601	沖縄 1%
	5カ年平均	2,014	641	688	664	586	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2024年見通し	2,000	650	700	550	700	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量(t)				単価(円/Kg)
【産地状況】 入荷先の主体は茨城、宮崎等となる。各産地とも生育に問題はなく、気温の上昇とともに入荷量が増える見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年をやや下回る。(▲3.3%) 価格：前年をかなり下回る。(▲6.9%)							
ばれいしょ	2019年	7,235	114	120	115	107	北海道 62%
	2020年	9,239	126	107	120	148	鹿児島 36%
	2021年	6,163	280	269	286	286	長崎 1%
	2022年	7,006	224	266	231	186	
	2023年	6,547	149	147	147	155	
	5カ年平均	7,238	173	175	174	172	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2024年見通し	6,600	150	160	130	160	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量(t)				単価(円/Kg)
【産地状況】 入荷先の主体は北海道、鹿児島となる。北海道産は発芽の懸念から出荷量少なく上中旬に終了。鹿児島産は大玉傾向の見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年並。(+0.8%) 価格：前年並。(+0.7%)							
たまねぎ	2019年	10,529	133	139	131	129	北海道 71%
	2020年	12,237	76	79	85	70	静岡 17%
	2021年	10,923	101	106	104	93	佐賀 6%
	2022年	9,102	233	225	233	241	長崎 4%
	2023年	9,819	135	134	138	133	中国 2%
	5カ年平均	10,522	131	132	134	128	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2024年見通し	9,500	150	130	160	160	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量(t)				単価(円/Kg)
【産地状況】 入荷先の主体は北海道となる。北海道産は終盤となり減少傾向で、静岡産も2月に前進出荷しており、例年より少ない見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年をやや下回る。(▲3.2%) 価格：前年をかなり上回る。(▲11.1%)							

名古屋市中央卸売市場

2月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)		
			上旬	中旬	下旬			
果	2019年	6,850	446	415	440	454	青森 24%	
	2020年	6,744	446	423	419	465	フィリピン 21%	
	2021年	7,223	444	425	439	485	愛媛 12%	
	2022年	6,551	479	493	480	470	愛知 9%	
	2023年	7,629	467	471	479	459	熊本 8%	
5カ年平均	6,999	456	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き		
2024年見通し	6,700	500	—	—	—			
実	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 t				単価 円/Kg
	<p>【産地状況】 かんきつ、りんご、いちごなどが主な品目となる。かんきつは、前月と同様に小玉傾向のため、数量は少ないが、単価は安い見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をかなり下回る。(▲12.2%) 価格：前年をかなり上回る。(＋7.1%)</p>							
りんご	2019年	1,725	268	274	262	271	青森 98%	
	2020年	1,572	351	340	355	360	秋田 2%	
	2021年	1,945	253	251	250	259		
	2022年	1,332	383	377	384	389		
	2023年	1,840	301	299	297	309		
5カ年平均	1,683	305	303	304	312	前年及び本年の 入荷量・価格の動き		
2024年見通し	1,200	380	390	370	380			
りんご	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 t				単価 円/Kg
	<p>【産地状況】 青森が主産地となる。平年に比べて等級比率が下がっており、上位等級の大玉が少ないため、高値で推移する予想。下位品の価格維持は難しい見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年を大幅に下回る。(▲34.8%) 価格：前年を大幅に上回る。(＋26.2%)</p>							
いちご	2019年	889	1,389	1,488	1,456	1,261	愛知 64%	
	2020年	905	1,244	1,222	1,254	1,252	熊本 23%	
	2021年	960	1,384	1,426	1,434	1,318	鹿児島 6%	
	2022年	1,089	1,127	1,273	1,090	1,028	佐賀 2%	
	2023年	994	1,354	1,605	1,347	1,162	福岡 2%	
5カ年平均	967	1,295	1,402	1,309	1,198	前年及び本年の 入荷量・価格の動き		
2024年見通し	1,000	1,300	1,400	1,300	1,200			
いちご	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 t				単価 円/Kg
	<p>【産地状況】 愛知、熊本を中心に鹿児島などからも入荷する。今後の天候次第だが、入荷は安定する見込み。3番果が中旬にピークを迎える予想。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年並。(＋0.6%) 価格：前年をやや下回る。(▲4.0%)</p>							



東京都中央卸売市場

2月28日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果実	2019年	30,143	496	480	496	513	青森 23%
	2020年	29,211	512	484	500	498	愛媛 13%
	2021年	31,054	509	496	492	543	栃木 10%
	2022年	27,955	565	573	565	556	熊本 9%
	2023年	27,780	578	582	591	560	静岡 7%
	5ヵ年平均	29,229	531	—	—	—	
	2024年見通し	27,000	580	—	—	—	前年及び本年の入荷量・価格の動き
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 りんご、いちご、中晩柑類を中心に入荷する。中晩柑類の「不知火」は前進傾向で小玉となる見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をわずかに下回る。(▲2.8%) 価格：前年並。(＋0.3%)</p>						
梨	2019年	6,814	269	268	269	269	青森 98%
	2020年	6,069	353	346	343	344	山形 1%
	2021年	7,533	260	261	260	258	
	2022年	5,612	373	366	377	377	
	2023年	6,506	299	293	299	306	
	5ヵ年平均	6,507	307	303	305	306	
	2024年見通し	5,600	367	360	370	370	前年及び本年の入荷量・価格の動き
梨	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 青森からの貯蔵品が入荷する。「ふじ」など各品種の在庫量は少なく、引き続き相場は強くなる見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をかなり下回る。(▲13.9%) 価格：前年を大幅に上回る。(＋22.7%)</p>						
いちご	2019年	5,339	1,226	1,228	1,210	1,237	栃木 47%
	2020年	5,102	1,335	1,438	1,359	1,239	福岡 15%
	2021年	5,269	1,371	1,399	1,394	1,328	茨城 11%
	2022年	5,997	1,243	1,335	1,218	1,178	静岡 9%
	2023年	5,687	1,368	1,535	1,362	1,232	佐賀 6%
	5ヵ年平均	5,479	1,307	1,387	1,306	1,241	
	2024年見通し	5,600	1,375	1,535	1,360	1,230	前年及び本年の入荷量・価格の動き
いちご	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 栃木を中心に「とちおとめ」などが入荷する。関東、九州産地の生育は順調で安定した入荷となる見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年並。(▲1.5%) 価格：前年並。(＋0.5%)</p>						

切花・鉢花の3月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 2月29日現在）

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実績	2019年	1,868	58	
		2020年	1,871	47	
		2021年	1,661	60	
		2022年	1,456	63	
		2023年	1,489	67	
	5カ年平均	1,669	58		
2024年見通し	1,450	63			
概要	愛知中心の入荷。上旬は入荷少なめ、中旬以降彼岸に向けて入荷が伸びてくる見込み。全体的に中旬以降は引き合いも強くなって、相場も強くなってくる。下旬からは減少傾向。				
小 ぎ	実績	2019年	1,820	33	
		2020年	1,784	27	
		2021年	1,854	37	
		2022年	1,854	37	
		2023年	1,488	41	
	5カ年平均	1,760	35		
2024年見通し	1,450	40			
概要	沖縄からの入荷。全体を通して作付は平年より減少している。中旬には彼岸需要に対して数量はあるが、下旬にかけては減少する見込み。				
カー ネー シ ョ ン	実績	2019年	1,445	46	
		2020年	1,273	41	
		2021年	1,295	52	
		2022年	1,173	59	
		2023年	1,295	52	
	5カ年平均	1,296	50		
2024年見通し	1,200	50			
概要	愛知中心に入荷。冬場、例年にない気温高により、全体の前進出荷に繋がっている。輸入は一部天候不順もあり、品質劣化で入荷減が予想される。全体としては大きな山なく、ダラダラ出荷が予想される。				
か す み	実績	2019年	230	77	
		2020年	188	74	
		2021年	216	93	
		2022年	180	119	
		2023年	216	93	
	5カ年平均	206	90		
2024年見通し	200	100			
概要	和歌山、高知、熊本から入荷。2月の気温高により前進出荷となっており、中旬以降は減少の見込み。				

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆ	実績	2019年	275	193	
		2020年	281	160	
		2021年	269	188	
		2022年	242	190	
		2023年	269	188	
	5カ年平均	267	183		
2024年見通し	250	190			
概要	<p>オリエンタルは高知、宮崎、埼玉、愛知からの入荷。作付から見ても入荷は多くな く、ダラダラとした出荷となりそう。鉄砲、LAはやや少なめの入荷の見込み。</p>				
洋らん	実績	2019年	505	70	
		2020年	425	75	
		2021年	337	108	
		2022年	332	118	
		2023年	337	111	
	5カ年平均	387	93		
2024年見通し	330	115			
概要	<p>国内産のコショウラン、カトレアは陽気とともに出荷量は増え、輸入品の出回りも 徐々に増加する見込み。デンファレは中国の引き合い強く、減少の可能性があり、オン シジウムは輸送遅延等で入荷に乱れがありそう。</p>				
ばら	実績	2019年	758	93	
		2020年	670	83	
		2021年	748	107	
		2022年	782	114	
		2023年	748	108	
	5カ年平均	741	101		
2024年見通し	750	110			
概要	<p>デンファレは彼岸需要でソニア中心に入荷が増える見込み。オンシジウムも物日の需 要で入荷は伸びる。コショウラン、カトレア、シンピジウムといった国内産中心の物は 気温の上昇具合にもよるが、入荷は横ばいで大きな山はない見込み。</p>				
枝も	実績	2019年	1,538	56	
		2020年	1,287	52	
		2021年	1,509	64	
		2022年	1,441	67	
		2023年	1,547	65	
	5カ年平均	1,464	61		
2024年見通し	1,400	65			
概要	<p>愛知、岐阜、三重を中心に入荷。国産は引き続き、資材費、燃料費等で苦しい生産が 続いている。輸入品は為替の影響はあるが、例年並みの入荷が計画されている。上旬の 卒業式、下旬の歓送迎会等に需要が見込まれる。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
カラ	実績	2019年	1, 1 4 1	4 7 6	
		2020年	4, 3 1 1	3 9 6	
		2021年	4, 3 7 5	4 2 0	
		2022年	5, 6 9 3	5 0 6	
		2023年	7, 8 6 9	5 1 1	
	5カ年平均	4, 6 7 8	4 7 0		
	2024年見通し	7, 7 0 0	5 1 9		
概要	<p>入荷量は前年よりやや減少か。球根の価格が前年より上がっており、生産数は横ばいもしくは減少傾向の見込み。中でも黄色系の品種は単品でも引き合いが強いが、ピンク・白系の単品になると厳しい予想。依然としてM I Xの引き合いは良く徐々にではあるが需要が伸びていく見込み。</p> <p>前年3月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位埼玉（69.7%）、2位千葉（12.7%）、3位長野（11.7%）となっている。</p>				
ファレノ	実績	2019年	2 7, 6 3 7	3, 7 5 2	
		2020年	3 0, 5 4 5	3, 0 9 4	
		2021年	2 8, 6 8 4	3, 8 7 2	
		2022年	2 8, 8 3 3	4, 2 3 6	
		2023年	3 5, 6 1 1	3, 9 7 1	
	5カ年平均	3 0, 2 6 2	3, 7 8 6		
	2024年見通し	3 5, 4 0 0	3, 9 5 5		
概要	<p>入荷量は前年並か。ミディエー系の胡蝶蘭需要は年々減り、単価の低迷により生産量自体も減ってきている。白大輪は前年並の出荷量となる見込み。</p> <p>前年3月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（61.0%）、2位宮崎（8.3%）、3位千葉（6.1%）となっている。</p>				
バラ及びミニバラ	実績	2019年	6 0, 3 1 8	1 9 3	
		2020年	6 3, 4 2 5	1 7 8	
		2021年	6 9, 4 5 9	1 9 7	
		2022年	5 4, 5 6 3	2 0 6	
		2023年	6 4, 5 6 0	1 7 8	
	5カ年平均	6 2, 4 6 5	1 9 0		
	2024年見通し	6 0, 0 0 0	1 8 0		
概要	<p>入荷量は前年並もしくは減少か。3～4号中心で気温の上昇に伴い、3月からは引き合いが強くなりそうな予想だが、コロナにおける巣ごもり需要も落ち着きをみせ販売は前年より厳しい見込み。時期的に販売の即戦力になる咲かせた状態での出荷を希望したい。</p> <p>前年3月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（67.6%）、2位岐阜（29.2%）、3位愛媛（2.9%）となっている。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
サイネリア	実績	2019年	66,241	217	
		2020年	60,559	210	
		2021年	56,677	273	
		2022年	48,244	264	
		2023年	57,696	279	
	5カ年平均		57,883	247	
	2024年見通し		57,500	280	
概要	<p>入荷量は前年並か。3月1週目から4号の品薄が予想され、引き合いが強い見込み。あとは咲き前が買い手に合うかが問題になると思われる。</p> <p>前年3月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（23.8%）、2位香川（15.0%）、3位奈良（14.3%）となっている。</p>				
マーガレット	実績	2019年	76,241	199	
		2020年	74,918	192	
		2021年	95,082	220	
		2022年	89,058	217	
		2023年	88,825	206	
	5カ年平均		84,825	208	
	2024年見通し		88,000	207	
概要	<p>入荷量は前年並か。例年に比べ気温が高く3～3.5号のポットを中心に動きが出る見込み。鉢サイズで4～5号も価格は平年並みの予想だが、5号以上の大鉢は需要動向次第で厳しいかも。</p> <p>前年3月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位埼玉（32.4%）、2位静岡（15.3%）、3位岐阜（10.7%）となっている。</p>				
デンドロビウム	実績	2019年	22,345	587	
		2020年	20,048	512	
		2021年	16,362	643	
		2022年	14,459	661	
		2023年	13,613	709	
	5カ年平均		17,365	612	
	2024年見通し		13,500	650	
概要	<p>入荷量は前年並か。サイズ別では例年同様4～6号中心の入荷になり、今期は早くから気温が比較的高く、販売は前年よりさらに苦戦する見込み。生産量は年々減少傾向。</p> <p>前年3月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（47.4%）、2位岡山（22.0%）、3位高知（16.2%）となっている。</p>				



## いいともあいち運動って知ってる??

- 県内の消費者と生産者が今まで以上にいい友関係になる
- Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

＝もっと愛知県産品を食べよう（利用しよう）

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えているという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート No.609  
2024年3月発行  
農業水産局農政部食育消費流通課  
〒460-8501  
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号  
電話 (052) 954-6434